

「不確実な科学的状況での法的意思決定」科学グループ 2012 国際シンポジウム International Symposium on Scientific Incertitude and Society Lessons from Law Court

原発の稼働の可否, 地球温暖化への対処など,
科学技術の問題は科学が答えを決めるのでしょうか.
専門家の判断は絶対なのでしょうか.
学校では「正解のある科学」が教えられます. しかし, 先端技術の評価や
環境予測など, 現実社会の中で科学は正解を用意できません (不定性).
では, 主権者たる市民, 行政, そして司法は, このような本質を持つ科学,
これを用いる専門家とどう向き合えば, 主体的判断に活かせるので
しょうか.
このシンポジウムでは「不定性」が端的に現れる法廷を例に
日本の制度的問題を明らかにし,
世界最先端の「コンカレント・エヴィデンス方式」(マクレラン判事),
「専門知の不定性」(スターリング教授)の知見を踏まえることで,
科学の不定性を直視した社会制度のあり方を議論します.

8/26 sun.

東京 一橋記念講堂 大ホール

10:00 ~ 18:00

入場無料 **同時通訳あり**

主催:(独)科学技術振興機構 RISTEX 研究開発プロジェクト「不確実な科学的状況での法的意思決定」科学グループ

運営:国際シンポジウム組織委員会

後援:科学技術社会論学会 日弁連法務研究財団 日本物理学会 日本臨床環境医学会

事務局:980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 東北大学 大学院理学研究科 本堂研究室内 TEL:022-795-5823

【シンポジウム組織委員会】総合研究大学院大学学融合推進センター 平田光司 / 九州大学情報基盤研究開発センター 小林泰三 / 国際基督教大学
中島貴子 / 流通経済大学法学部 尾内隆之 / 北陸先端科学技術大学院大学 立花浩司 / 常磐大学 吉良貴之 / 東京工業大学大学院理工学研究科 調
麻佐志 / 大阪大学大学院医学系研究科 吉澤 剛 / 東北大学大学院理学研究科 久利美和 / 東北大学大学院理学研究科 村上祐子 / 東北大学大学院
理学研究科教育研究支援部 大石亜依 組織委員長:東北大学大学院理学研究科 本堂 毅

参加申し込み・詳細

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/hondou/0826/>

または「科学の不定性 0826」で検索すると上位に出ます。

いま、法廷では……？
科学の不定性と社会

Program

講演

10:00
|
14:30

※昼食休憩あり



「科学の不定性と裁判：科学者の視点から」

本堂 毅（東北大学理学研究科）

「“コンカレント・エヴィデンス” とその制度的含意」

吉良貴之（常磐大学）



「Concurrent Evidence：専門家を活用する現代的手法」

Peter McClellan（オーストラリア NSW 州最高裁判所コモンロー首席判事）

「専門知を意思決定にどう使うか：日本の状況における問題点」

尾内隆之（流通経済大学法学部）



「科学の不定性に向き合う：方法論と政策の可能性」

Andrew Stirling（英国サセックス大学）

「合理的失敗は可能か—後悔の最小化、ベストエフォート、受容」

小林傳司（大阪大学）



企画展示など

14:30
|
15:30



「科学の不定性と法を扱うための『ハンドブック』，その編集を語る」（中島貴子ほか）

企画展示 ほか

パネルディスカッション

15:30
|
18:00

司会：尾内隆之 / 本堂 毅

Peter McClellan

（オーストラリア NSW 州最高裁首席判事）

Andrew Stirling

（英国サセックス大学）

小林傳司

（大阪大学）

平田光司

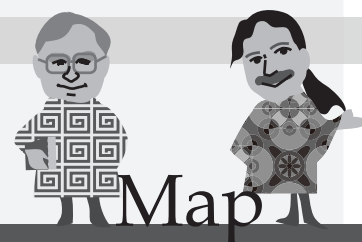
（総合研究大学院大学）

米村滋人

（東北大学）

渡辺千原

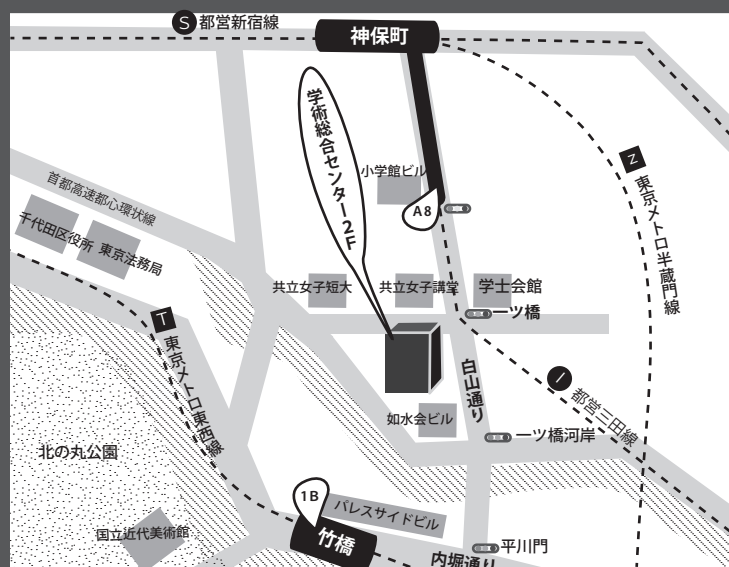
（立命館大学）



一橋記念講堂（学術総合センター）

〒101-0003

東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター2階



東京メトロ 半蔵門線

都営地下鉄 三田線

都営地下鉄 新宿線

東京メトロ 東西線

「神保町」駅下車…A8出口から徒歩3分

「竹橋駅」下車…1B出口から徒歩4分

法哲学漫談カフェ

18:00
|
20:00

若手法哲学者がシンポジウム全体の内容をコンパクトにわかりやすく語り，リラックスした雰囲気に参加者と意見交換します。

話題提供：小林 史明（明治大学）川瀬貴之（千葉大学）

吉良貴之（常磐大学）

ファシリテータ：立花 浩司（科学ひろば）

お申込み：

氏名、フリガナ、所属（ご職業）、連絡先を明記の上、

sy826@mail.sci.tohoku.ac.jp へメールをお送り下さい。

郵送：980-8578（住所不要） 東北大学 理学研究科 本堂研究室 国際シンポジウム事務局 FAX: 022-795-5831